

ひとつの小さな夢があるといい

明日のために

くらやみから湧いてくる未知の力が
私たちをまばゆい朝へと開いてくれる

だが明日は明日のまままでは

いつまでもひとつの幻

明日は今日になつてこそ

生きることができる

明日は幻
今日は現実

でも、
約束も予言も
願ひも夢も
ひとつの幻

筆者の捉え(見・考え)

だから
約束予言・願ひ・夢
幻・明日

ひとつのたしかかな今日があるといい

明日に向かつて
(現実の)行動の方向(ムーブ)として

日常 daily routine

歩き慣れた細道が地平へと続き、

この今日のうちにすでに明日はひそんでいる

潜在する
内部に隠れて外に現れないようにする

「今日」と「明日」の関係
(「今日」はあるが明日はない)

別の言い方をすると
今日というのは
つまり、今日と

「明日」についで多くのことを言っている

多くの人は「明日」を想う。「明日」に多くを願う

でも、「明日」じゃなくて、「今日」なんだよね。